

まほろば



2021.11
第231号

第69回生 誓い式



10月29日秋晴れのよき日、第69回生の誓い式を行いました。例年ですとご来賓や保護者を招いてのセレモニーですが、コロナ禍のため規模を縮小して行いました。

誓い式は、「看護を志すものとしての自覚と誇りをもつ」ことを目的に行っています。

入学して半年、医療、とくに看護について学び、実習にも1日行きました。患者様の生活環境や実際の医療の場を見学して、豊かな感性でたくさんを感じ学び、看護へのイ

メージを膨らませてきました。学生達の目指す看護師像は、「信頼される看護師」「患者様に寄りそえる看護師」が多かったです。

学校長の大熊洋揮先生からは、「憧れだけでは看護師になれないこと、一つ一つの知識と経験を積み上げることが必要でそのためのたゆまぬ努力と研鑽を惜しまないこと、毎日の看護実習に精一杯励むことにより将来が輝かしいものとなることを期待している」と励ましのお言葉をいただきました。

学生達がこれからの実習での経験から学びを積み重ね自分の目標とする看護師、さらには社会に必要とされる看護師に成長していけるよう支援していきたいと思えます。



教育主事：内山 恵史子

職場紹介：放射線科



放射線科では、画像診断と放射線治療を担っています。

画像診断部門では、一般撮影、X線透視撮影、マンモグラフィ、歯科撮影、CT、MRI、血管造影、RIなど様々な検査を行っています。4月の新病院開院からは、CT2台、MRI2台に増え、SPECT-CT、3D血管造影装置、骨密度測定装置などは最新のものが新たに導入されます。新しい装置の導入により、検査時間が短縮され、患者様の検査待ち時間短縮も期待されます。新しい装置では検査における被曝も大幅に少なくなります。また、新しい技術により、診断や治療に有用な画像をこれまで以上に迅速に提供できることとなります。新しい装置に期待が膨らむ一方、これまで長らく使用してきたX線フィルムが完全に姿を消すこととなります。

放射線治療部門では、頭から足まで全ての部位の腫瘍の放射線治療が出来ます。4月からは、IGRT（画像誘導放射線治療）が導入され、さらに精度の高い治療が可能となります。

RI検査主任：佐藤 みゆき



国立病院総合医学会に参加して

10月23日から、第75回国立病院総合医学会が開催されました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、昨年に引き続きWEB形式での開催となりました。当院緩和ケア認定看護師3名は、「がん終末期看護に対する意識調査 ―FATCOD―B―J を用いて」という演題名で、ポスター発表の形で参加しました。今後の研究でさらに検討を重ねていく予定です。他施設のQC活動報告は親しみを感ずるタイトルばかりで、特に医療サービスや働き方改革をテーマにしている発表は興味を引くものが多数ありました。

11月現在、新型コロナウイルス感染症の流行は収束しつつあるものの、まだまだ油断はできず、県外での学会や研修などについては慎重になっている状況です。しかし、常に新しい知識をアップデートしていく必要がある医療者にとっては、オンラインでの研究会やセミナーの参加はとても有意義な学習時間であると感じています。緩和ケアに関連する研修については随時お知らせしますので、興味がある内容を見つけた時は是非参加してみてください。

緩和ケア認定看護師：工藤 千穂



現在、私は東北地区国立病院薬剤師会（以下、薬剤師会）のリスクマネジメント委員会（以下、委員会）の委員長として仕事をしております。

当委員会では毎年、薬剤師会会員を対象として、医療安全に関する集合研修を開催してまいりましたが、

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、テルモ株式会社制作の看護師向け医療安全DVD（以下、DVD）を活用したe-Learning形式の研修を開催いたしました。研修方法の詳細は割愛いたしますが、DVDの中から3つの事例動画（委員会で選出）を視聴してもらい、委員会で作成したワークシートと解答例で自己学習してもらうことで、インシデント / アクシデントを未然防止するために薬剤師として介入できることが勉強できる内容となっています。この取組みを第75回国立病院総合医学会でポスター発表させていただきました。今年度は、今回使用したDVDとワークシートを薬学部学生実習に取り入れ、学生指導用の資料として活用しています。



使用したDVD

副薬剤部長：吉田 和美

風の子保育園 うんどう会

10月9日(土)、看護学校講堂にて風の子保育園運動会を行いました。感染症の影響で例年より、ひと月遅い開催でしたが、穏やかな気候の中、園児全員が元気に参加しました。

0歳児つくし組、1歳児たんぼぼ組は大きな食べ物を持って行き、動物に食べさせる競技をしました。保護者の声援を受けてゴールまで頑張りました。2歳児ちゅうりっぷ組はピーターパンになりきり、空を飛び、雲をくぐり抜けゴールを目指しました。ピーターパンのコスチュームが可愛かったです。3歳児ばら組、4歳児ひまわり組はパティシエになり、大きなケーキを作りました。おいしそうなケーキを作ることができました。5歳児ゆり組はサッカーボールを蹴りながら、障害物を避け、長い距離を走りました。親子競技ではお母さんと協力をして、フラフープをくぐり、最後は手を繋いでゴールしました。練習の成果を発揮してお遊戯も上手に踊れました。

風の子保育園 園長：木村 美千代



研修医便り

お世話になっております。研修医一年目の石戸谷奈緒と申します。11月現在は消化器内科の澤谷先生に時に厳しく時に優しくご指導いただいております。先生方だけでなく、研修医の先輩・同期や看護師さんなどのコメディカルの皆さんに支えられ日々のびのびと過ごしております。

長年、国立病院にお勤めの皆様からすると石戸谷といえば一昨年まで研修されていた石戸谷美奈先生と現在もこちらにお勤めの薬剤師の石戸谷奈緒先生が思い浮かぶかと思われます。よく関係を聞かれますが残念ながら血縁関係はありません。地元の方はご存じかと思いますが、弘前には石戸谷一族がまあまあ散在しているので私としてはどこにいても石戸谷はいるんだなあという印象です。薬剤師の奈緒先生とは最後の漢字が違います。気になる方は私か奈緒先生に聞いてみてください。一緒に載せた絵はうちの家紋です(うろ覚え)。他の石戸谷家は鶴らしいです。以上、石戸谷一族の紹介でした。



臨床研修医：石戸谷 奈緒

外来診療一覽

◆外来医師診療一覽表 (令和3年11月1日～)

診療科	区分	月	火	水	木	金
循環器内科		加藤 武/澁谷修司	加藤 武/酒井峻太郎	加藤 武/酒井峻太郎	加藤 武/酒井峻太郎	横田 貴志
呼吸器内科		中川 英之	山本 勝丸	中川 英之	山本 勝丸	中川 英之
		山本 勝丸	下山 亜矢子	下山 亜矢子	下山 亜矢子	下山 亜矢子
		下山 亜矢子	田中 佳人	田中 佳人	—	田中 佳人
		—	石岡 佳子	—	—	—
消化器・血液内科		松木 明彦	相原 智之	相原 智之	松木 明彦	相原 智之
		山口 公平	間山 恒	松木 明彦	間山 恒	山口 公平
		澤谷 学	高橋 一徳	澤谷 学	高橋 一徳	松木 明彦
		石黒 陽	石黒 陽	高橋 一徳	石黒 陽	石黒 陽
	午後 血液内科のみ	間山 恒	山口 公平	間山 恒	山口 公平	—
脳神経内科		今 智矢	清野 祐輔	—	清野 祐輔	清野 祐輔
小児科		敦賀 和志	佐藤 工	敦賀 和志	佐藤 工	杉本 和彦
		岡本 剛	千葉 智子	佐藤 啓	岡本 剛	佐藤 啓
		徳竹 晴香	石山 永美	千葉 智子	石山 永美	徳竹 晴香
外科		柴田 滋	内田 知頭	柴田 滋	内田 知頭	三上 勝也
		—	堤 伸二	堤 伸二	堤 伸二	—
呼吸器外科		對馬敬夫/畑中 亮	對馬敬夫/畑中 亮	—	對馬敬夫/畑中 亮	對馬敬夫/畑中 亮
乳腺外科		小田桐 弘毅	小田桐 弘毅	小田桐 弘毅	小田桐 弘毅	小田桐 弘毅
整形外科	午前	陳 俊輔	秋元 博之	秋元 博之	陳 俊輔	秋元 博之
		中村 吉秀	中村 吉秀	岩崎 宏貴	中村 吉秀	岩崎 宏貴
		岩崎 宏貴	陳 俊輔	油川 広太郎	油川 広太郎	油川 広太郎
脳神経外科		大熊 洋揮	—	木村 正英	—	大熊 洋揮
皮膚科	午前	福士 花恋	福士 花恋	福士 花恋	福士 花恋	福士 花恋
		是川 あゆ美	是川 あゆ美	是川 あゆ美	是川 あゆ美	是川 あゆ美
	午後	● 予約	● 手術/検査	● 予約	● 手術/検査	● 予約
泌尿器科	午前	松本 哲平	松本 哲平	松本 哲平	松本 哲平	松本 哲平
	午後	検査	検査	手術	検査	手術
産婦人科		横田 恵	當麻 絢子	追切 裕江	● 妊婦健診 (一般外来休診)	横田 恵
		當麻 絢子	丹藤 伴江	丹藤 伴江		追切 裕江
眼科		蒔 苗 順義	蒔 苗 順義	—	蒔 苗 順義	蒔 苗 順義
耳鼻咽喉科		西澤 尚徳	西澤 尚徳	(手術)	西澤 尚徳	西澤 尚徳
		松下 景	松下 景	(手術)	長岐 孝彦	松下 景
放射線科	診断	佐々木 幸雄	佐々木 幸雄	佐々木 幸雄	佐々木 幸雄	佐々木 幸雄
	治療	藤田 環	藤田 環	藤田 環/松山 寛	藤田 環	藤田 環/辰尾宗一郎
女性専用外来		杉本 菜穂子(※予約制/第1・第3水曜日午後診療)				
セカンドオピニオン		佐藤 温(※予約制/第2・第4木曜日14時～16時)				

- ※ 学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。
- ※ セカンドオピニオン外来は第2・第4木曜日の14時～16時です。
- ※ 循環器内科、石田医師の診察は13時～16時です。
- ※ 小児科の午前診療受付は10時30分までとなります。
- ※ 大熊医師の診察は14時～16時です。
- ※ 産褥健診は11時30分～12時です。
- ※ 眼科の診察は9時30分からとなります。



患者相談窓口

『患者相談室』のMSW(メディカルソーシャルワーカー)が対応していますので、お気軽にお尋ね下さい。

お知らせ

編集委員会より

当院の広報誌『まほろば』は、地域に信頼され、納得の医療で地域に貢献しつつ、地域と協働して歩む病院づくりを目指し、地域の方々を対象に編集しております。皆さまから病院に対して『不安なことや不満足なこと』『ご批判やご指摘』また、『お褒めのことば』を職員一同お待ちしております。

発行元



Hirosaki National Hospital
独立行政法人国立病院機構

弘前病院

責任者：副院長 小田桐 弘 毅

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地
TEL 0172-32-4311
FAX 0172-33-8614
URL <http://hirosaki.hosp.go.jp/>